

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

たんげんのめあて

- 友達におもちやの作り方を教えるための「なるほどせつめいカード」を写す。

めあて

「なるほどせつめいカード」を書くための 学習計画を立てよう。

【学習計画ひょう】

時	学習すること
一	学習計画を立て、「しかけカードの作り方」と「おもちやの作り方」を読む。
二	文しょうの組み立てについてしらべぬ。
三	じゆんじよをあつむすてはを 見つげながら 読む。
四	数おしやしん・絵をながって せつめいしていろをせんを見つげながら 読む。
五	アドバイス文()のまをきつげるとを 見つげながら 読む。
七六	「なるほどせつめいカード」を書く。
八	「なるほどせつめいカード」を 読みあつ。
九	ほかの本を読む、学習せん体のゆかりをする。

【単元で学習すること】

- 教科書「しかけカードの作り方」で、せつめいのくふうを見つげながら読む。
- 教科書「おもちやの作り方」で、読み取った せつめいのくふうを生かして「なるほどせつめいカード」を書く。

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート(「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう) 本時のねらい

友達に作り方を教えるために『なるほどせつめいカード』を書くという目的をもたせ、学習計画を考えることで、学習の見通しをもたせる。

1 単元のめあてを設定する。

- 教師が用意した簡単な手作りおもちゃを見て、作り方や遊び方について考えさせ、作りたい、遊びたいという意欲をもたせる。
- ※ 用意するおもちゃは、最終的に児童が「なるほどせつめいカード」として書くことを考慮し、作り方が簡単なものを用意しましょう。生活科の教科書(おもちゃ作りの単元)も参考になります。
- 単元のめあてを板書し、これから学習することへの目的意識や相手意識をもたせる。

2 本時のめあてを確認する。

- 「なるほどせつめいカード」を書く活動に向けて、学習計画を立てることを確認させる。

3 教材文を読み、学習計画を立てる。

- 教材文「しかけカードの作り方」と「おもちやの作り方」を読ませる。
- ※ 教師の音読を聞かせたり、デジタル教科書などを活用したりします。
- 「なるほどせつめいカード」を書くことに向けて、どんな学習が必要かを考えさせ、学習計画を立てさせる。
- ※ 上の板書計画の第一時目と第六時目(「なるほどせつめいカード」を書く活動)以降を先に提示し、「なるほどせつめいカード」が書けるようになるには、どんな学習が必要かを考えさせます。教師の板書に合わせて、ワークシートに記入させます。
- ※ 学習計画を児童と話し合いながら考えることで、学習の見通しをもたせることができます。また、毎時間の読みの目的もはっきりもたせることができます。

評価 「なるほどせつめいカード」を書くことに興味をもち、単元計画について話し合おうとしている。(関)

4 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- 「なるほどせつめいカード」を書くという目標をもち、読み進めていくことをワークシート【学習計画ひょう】で確認させる。
- 次時は、「しかけカードの作り方」がどのような組み立てで書かれているかを学習することを確認させる。